

## 1 策定の目的

本市の産業を取り巻く環境は、少子高齢化に伴う人口減少や産業のボーダレス化、グローバル競争<sup>1</sup>の激化、東日本大震災の影響など非常に厳しい状況に置かれており、また、ICT<sup>2</sup>の急速な発展・普及による第4次産業革命<sup>3</sup>、Society5.0<sup>4</sup>などの新しい時代ソサエティに対応するとともに、SDGs<sup>5</sup>やESG投資<sup>6</sup>、2025年の崖<sup>7</sup>、自治体戦略2040構想<sup>8</sup>の実現、さらには国際標準への対応(ガラパゴス化<sup>9</sup>からの脱却)など新たな課題や時代の要請に応じた産業振興が急務となっています。

これらの課題を解決し、本市の産業がより一層競争力を高め持続的に発展(SD: Sustainable Development)していくための産業振興の基本的な方向性を示すものです。



1 グローバル競争: 国際市場における国家間・企業間の競争。世界が大きな一つの市場と化したことによる。

2 ICT: 情報処理や通信に関する技術、サービス等の総称。

3 第4次産業革命: インターネットやAI(人工知能)による産業構造変革を目指すもの。

4 Society5.0: 第4次産業革命を経て実現される超スマート社会。狩猟・農業・工業・情報に続く新しい社会。

5 SDGs: 世界が抱える問題を解決し持続可能な社会をつくるため、2015年9月の国連サミットで採択、加盟193か国が合意した17の目標と169のターゲットからなる2030年までの15年間の国際目標。

6 ESG投資: 投資家が、環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)に対する企業の取組みを考慮して行う投資。

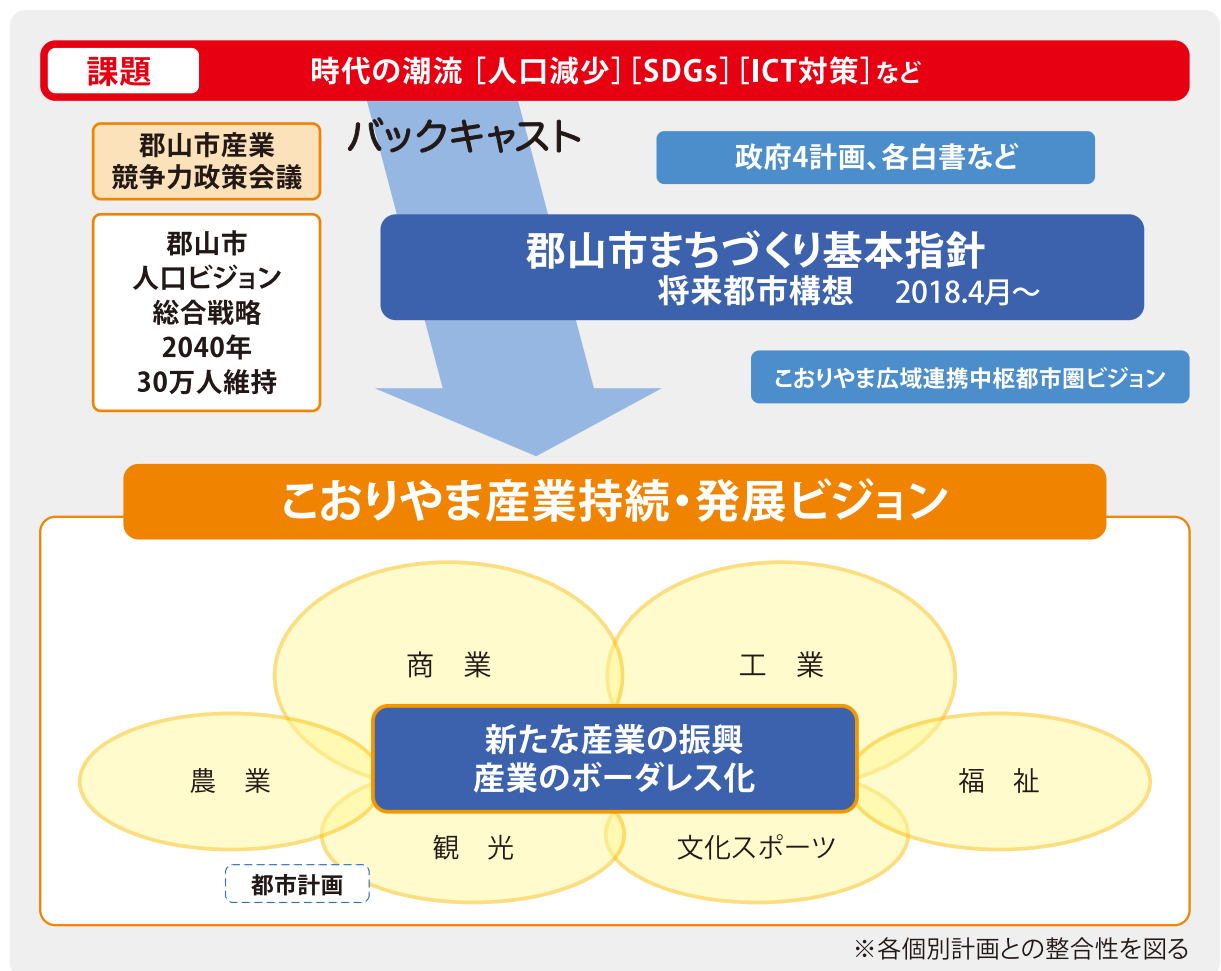
7 2025年の崖: 既存システムを使い続けると、維持にばかりヒトやカネがとられ、デジタル変革が進まず他国に遅れを取ったり、システム老朽化に起因するトラブルやデータ消失のリスクも高まること。

8 自治体戦略2040構想: 団塊・団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年頃の超高齢化社会における自治体経営構想。

9 ガラパゴス化: 世界の潮流から取り残されて、日本国内の独自規格が不利になる現象のこと。例)「ガラケー(ガラパゴスケータイ)」日本独自の進化を遂げた日本製の携帯電話。

## 2 ビジョンの位置づけ

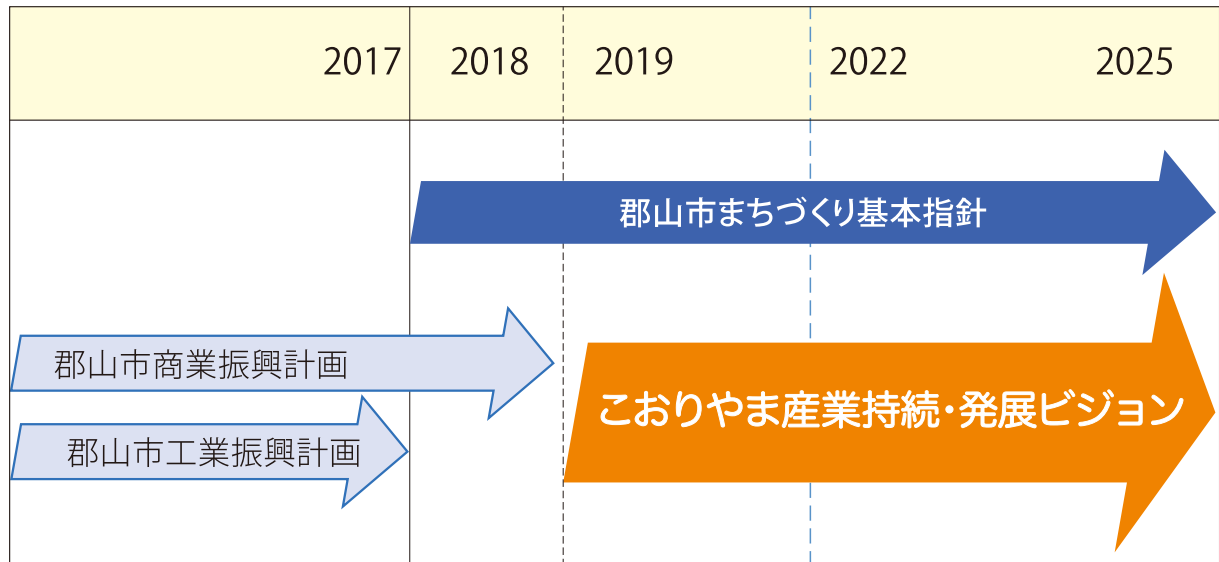
国の各計画・白書や、本市の最上位計画である「郡山市まちづくり基本指針」などの整合性を図り、商業と工業の一体的な振興とともに、農業、観光・文化スポーツ産業、福祉産業などと連携しながら、本市産業全体の更なる発展を推進していくため、それぞれ策定していた「郡山市商業振興計画」、「郡山市工業振興計画」を統合し「こおりやま産業持続・発展ビジョン」として策定することとしました。



### 3 計画期間

2019(平成31)年度～2025年度までの7年間とします。

これは、「郡山市まちづくり基本指針」(2018～2025)の計画期間の終期に合わせた期間として設定するものです。



なお、社会経済情勢の変化や国の新たな制度等にも柔軟に対応するため、上位計画である「郡山市まちづくり基本指針」が見直しとなる場合などにおいては、当ビジョンも見直しの検討を行います。